

開講年次・時期	2年通年	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	福祉住環境コーディネーター概論	担当者名	寺谷 真紀子						
授業の概要	高齢者・障害者の身体、精神、生活、福祉用具や利用空間に関する理解と、生活要求に対応する知識を習得し、福祉住環境整備の一部始終を統括して見渡すことができる「福祉住環境コーディネーター」としての知識や技術を習得する										
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者の身体、精神、生活、福祉用具や利用空間に関する理解を深める ・福祉住環境コーディネーターとしての基本的な知識や技術を習得する ・福祉住環境コーディネーター2級の資格取得を目指す（概ね2級の検定試験範囲を考慮した内容とする） 										
DPの観点	②専門知識・技能 ③意欲・継続力 ⑥幅広い教養 ⑨情報活用能力										
授業時間外学修（予習・復習）	<p>普段利用する場所（自宅、道路、公園、広場、河川、水路、学校、図書館、病院、郵便局、銀行、駅、デパート、スーパーマーケット等）を「車イスを使用して行動する」「何らかの障害を持った状態で行動する」と想定して、日々観察すること</p> <p>配布する課題について 授業時間内に解答できなかったものを30分程度学習する</p>										
フィードバックの方法	授業内試験及びレポートの添削										
単位認定の要件	授業状況により総合的に評価する										
評価の方法・割合（%）	授業内試験 40%、授業内活動 40%、その他 20%										
履修上の注意事項	検定試験の受験の有無にかかわらず受講可能 (H31年度 2・3級の検定試験は7月7日、11月24日の年2回実施)										

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			福祉住環境コーディネーターの役割と意義、検定試験について	②	学生の口頭による確認
2			住宅・住環境に関する建築等の基礎知識	②	学生の口頭による確認
3			高齢者・障がい者の心身の特性と自立支援のあり方について	②	学生の口頭による確認
4			高齢者に多い疾患の特徴及び生活上の問題点と住環境整備	②	学生の口頭による確認
5			障がいの特徴及び生活上の問題点と住環境整備	②	学生の口頭による確認
6			相談支援の考え方と福祉住環境整備の進め方	②	学生の口頭による確認
7			福祉住環境整備の基本技術と知識	②	学生の口頭による確認
8			検定試験に向けた試験対策	⑨	ミニテスト
9			検定試験に向けた試験対策	⑨	ミニテスト
10			生活行為に応じた動作からみた住環境整備の手法	⑥	学生の口頭による確認
11			福祉用具の活用と住宅改修からみた住環境整備	⑥	学生の口頭による確認
12			介護保険を利用した住宅改修について	⑥	学生の口頭による確認
13			住宅改修案の作成と、実際の状況と図面の内容を想定する力	⑥	学生の口頭による確認
14			検定試験に向けた試験対策	③	ミニテスト
15			検定試験に向けた試験対策	③	ミニテスト
期末試験					

使用テキスト	福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 改訂5版（東京商工会議所）
参考文献 参考URL	「福祉住環境」 執筆代表 大野隆司・水村容子（市ヶ谷出版社）
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	-----------------------------------------------------------------

授業の自己評価	
---------	--